

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		日本の文化と生活			
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	4月～5月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	茶道裏千家釧路支部副幹事長	実務経験	専門実務経験あり		
科目目的	日本の文化を学び、社会人として生活に密着したマナーを身につける。				
回	授業内容				授業方法
1	日本のしきたり 1)年中行事のしきたり 日常生活でのマナー 茶道の意義 お辞儀の仕方				講義
2	日本のしきたり 2)人生の節目のしきたり 3)葬儀のしきたり・意義 茶道の意義 お菓子の頂き方 お茶の頂き方				講義
3	日本のしきたり 4)お付き合いのしきたり 5)縁起のしきたり・意義				講義
4	日常生活の中の生活動作 1)洗濯・掃除				講義
5	現在社会とコミュニケーション 1)言葉使い・敬語				講義
6	茶道を学ぶ 1)客の心得 茶花 お菓子などの季節感について お菓子の頂き方 お茶の頂き方				講義
7	茶道を学ぶ 和室での礼儀作法 上座・下座 お菓子・お茶をいただく				講義 実技
8	試験				
使用教材	裏千家茶道 裏千家今日庵				
参考文献	日本のしきたり 武 光誠 監修 美しい日本語の話し方 山岸弘子監修 掃除と洗濯の基本 後藤美枝子 監修				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		総合医療論			
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	4月～8月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	学校長 他4名	実務経験	病院実務経験あり		
科目目的	生活者が健康な生活を確保するために保健・福祉との連携の中で医療が果たす役割を理解する。				
学習目標	全ての人々が健康な生活を確保するために保健・福祉との連携の中で医療・看護が果たす役割を理解する。				
回	担当	授業内容			授業方法
1	学校長	医療の歴史(医学・看護の歴史)			講義
2	臨床心理士	心の健康と精神医療			講義
3	学校長	我々を取り巻く自然/社会環境と疾病構造			講義
4	医師	(高齢社会・生活習慣病など) 障害者とノーマライゼーション			講義
5	学校長	がん診療と死生学			講義
6	学校長	環境と健康被害、保険・福祉活動			講義
7	副校長	看護コミュニケーション			講義
8	学校長	医療コミュニケーション(IC、情報開示)			講義
9	学校長	プライマリーケア、総合診療、在宅医療			講義
10	副院長	緩和ケア			講義
11	学校長	命を考える、移植			講義
12	学校長	医学概論			講義
13	学校長	臨床講義			講義
14	学校長	臨床講義			講義
15		試験			
使用教材	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度① 総合医療論 医学書院				
参考文献	基礎からステップアップ「看護コミュニケーション」高橋清美編 ヘルス出版 2014年				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	哲学				
科目分類	基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	9月～10月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	大学准教授	実務経験			
科目目的	物事の本質を洞察し、理性的な思考を通じて、人間としての生き方を思索し、看護を深く思惟する姿勢を養う。				
学習目標	人間の合理的な面と不合理的な面を理解し、人間の行動の「理由」を理解することで他者への理解を深めると同時に、他者への偏見を軽減し、より寛容な姿勢をもって他者と接するようになること。				
回	授業内容				授業方法
1	ガイダンス「人間という面白い生き物」				講義
2	なぜ節約できないのか？				講義
3	なぜ人は辛抱できずに言い訳するのか？				講義
4	ダメ人間は存在するのか？				講義
5	なぜ人は過去のとらわれるのか？				講義
6	なぜ人は変わらないのか？				講義
7	チャレンジという「逃げ」について				講義
8	弱く醜い自分				講義
9	お金は欲しいがそれだけではない？				講義
10	人をやる気にさせるには？				講義
11	復習は楽しい？それとも虚しい？				講義
12	寛容のメリット				講義
13	共感と冷淡さ				講義
14	みんなが論議すれば・・・ダメになる？				講義
15	これまでのまとめ(試験)				
使用教材	自信過剰な私たち 自分を知るための哲学(ナカニシヤ出版)				
成績評価の方法	筆記試験				

科目名		教育学			
科目分類	基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	4月～9月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	30時間	試験時間	
担当教員	短期大学教授	実務経験			
科目目的	教育の本質を学び人間形成における教育の機能を理解し、看護において教育的な働きかけができる能力を養う。				
学習目標	1. 「教育」とは何か、相手/他者に“伝える”“伝わる”情報について考える。 2. 他者理解のための視野を広げる 3. 「学校に行くこと」をキーワードとして、現代教育で問われている諸問題への関心を広げる。				
回	授業内容				授業方法
1	1) 「教育学」講義の紹介 オリエンテーション				説明
1・2	2) 事実と認識、そして教育による普及 情報の有無による認識の違い				講義 自由記載課題
2・3	3) 学校に行くことが当たり前になるまで				講義
4・5	① 近代日本教育制度のはじまり				
5・6	② 就学率の推移と国家主義教育の形成				
7	4) 捨てられた子どもたち ～「赤ちゃんポスト」とイタリアの養育院の事例～				講義
8	5) 「教育観」と「人間形成」の考え方				講義
9	①個人をどうみるか ロック、ルソー、フレーベル				自由記載課題
10	②社会との関係 デュルケイム、クレーク				
11	デュルタイ、シュプランガー、デューイ				
12	6) 「教える」考～受け手の決断、伝え手の責任～				講義
13	O.F.ボルノーと吉田章宏の立論比較				自由記載課題
14	7) 学校に行くことが当たり前になったために問題となったこと				講義
15	①不登校～現状と対策の課題				
	②いじめ～現状分析からの提言				自由記載課題
	8) 保育場面の観察から 事実とその解釈、保育「記録」の意味				講義
	9) 学校に行くことが当たり前とされなかった子どもたち～ インテグレーションからインクルージョンまで				講義
使用教材	使用せず、必要時に講義資料を配布する。				
参考文献	1. 沼田裕之・増淵幸夫、『＜問い＞としての教育学』福村出版 1997年 2. 教育史研究会編『教育勅語の何が問題か』岩波ブックレット974 2017年 3. 前之園幸一郎「フィレンツェにおけるインノチェンティ捨て子養育院の創設とその発展について」、『青山学院女子短期大学紀要』49輯 1995年12月等 4. 正高信男『いじめを許す心理』岩波書店 1998年 5. 土井隆義『友だち地獄～「空気を読む」世代のサバイバル』ちくま書房710 2008年 6. 吉田重子『点字から始まるメッセージ』北海道新聞社出版局 2009年 ほか 各講義資料に示す				
成績評価の方法	レポート試験(授業時に実施する自由記載内容を勘案する)				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		心理学			
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	6月～10月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	臨床心理士	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	人間の心理と行動の関連を学び、包括的に人間を理解するための素地を養う。				
学習目標	1. 基礎的な心理学の理論を学び、人間理解に役立てる。 2. 看護場面からみられがちな患者心理についての知識を深める。				
回	授業内容				授業方法
1	1. オリエンテーション ・感覚の種類と性質 ・感覚の加齢変化 ・錯視や仮現運動について				講義 情報科学室での錯視体験 講義
2	2. 学習・記憶について ・学習と記憶の種類 ・忘却・記憶の病気 ・高齢者の記憶				
3	3. 感情と動機づけについて ・感情の種類と成因				講義
4	3. 動機の種類と欲求不満 4. 性格研究の方法と性格理論 ・性格研究の歴史 ・性格理論				講義
5	4. 知性と性格について ・知能 ・性格と心の健康				講義
6	5. 発達心理学 ・乳児期・児童期の発達				講義
7	5. 発達心理学 ・乳幼児期・青年期の心理的問題 ・青年期の発達と課題				講義
8	5. 発達心理学 ・成人期の発達 ・老年期の発達 ・成人期・老年期の心理的問題				講義
9	6. 社会心理学 ・対人認知と態度 ・社会的スキル				講義
10	・集団 ・リーダーシップ				講義
11	7. 患者の理解 ・ストレス理論 ・主観的統制感と健康				講義
12	7. 看護者の心理 ・バーンアウト ・ストレス対処法				講義
13	8. 臨床心理学 ・臨床心理学とは ・心理アセスメント ・面接				講義
14	8. 臨床心理学 ・各種心理療法について				講義
15	試験				
使用教材	看護学生のための心理学 第2版 医学書院				
参考文献	必要に応じて資料を配布				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		人間関係論			
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	4月～10月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	大学准教授	実務経験			
科目目的	臨床心理学やカウンセリングの理論・技法を応用し、看護におけるコミュニケーション能力を向上させる				
回	授業内容			授業方法	
1	オリエンテーション、授業の概要説明			講義	
2	対人ストレスとコーピング			講義	
3	マイクロカウンセリング1			実習	
4	マイクロカウンセリング2			実習	
5	マイクロカウンセリング3			実習	
6	マイクロカウンセリング4			実習	
7	ブリーフセラピー1			実習	
8	ブリーフセラピー2			実習	
9	ブリーフセラピー3			実習	
10	ブリーフセラピー4			実習	
11	家族関係・家族ライフサイクル			実習	
12	家族療法1			講義・映像資料視聴	
13	家族療法2			講義・実習	
14	講義のまとめ			講義	
15	試験			試験	
◆教科書 教科書は指定しない。毎回レジユメを配布する。					
◆参考文献 講義内で適宜紹介する。					
◆成績評価の方法 筆記試験					

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	<b>社会学</b>				
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	4月～7月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	大学准教授	実務経験			
科目目的	社会の構造と機能を学び、社会的存在としての人間を理解する素地を養う。				
学習目標	社会学の基本的な考え方について理解し、社会的な思考を身につけることによって、より広い視野で医療現場をとらえられるようになる。				
回	授業内容				授業方法
1	社会学とはどんな学問か				講義
2	食の社会学①				講義
3	食の社会学②				講義
4	食の社会学③				講義
5	食の社会学④				講義
6	ジェンダーの社会学①				講義
7	ジェンダーの社会学②				講義
8	ジェンダーの社会学③				講義
9	ジェンダーの社会学④				講義
10	ナショナリズムの社会学①				講義
11	ナショナリズムの社会学②				講義
12	ナショナリズムの社会学③				講義
13	ナショナリズムの社会学④				講義
14	医療の社会学				講義
15	試験				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		英語			
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	10月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	短期大学専任講師	実務経験			
科目目的	看護における国際的視野を広げ、国際的な医療現場に対応できるよう、看護英会話および英語論文の原著読解能力を養う。				
学習目標	医療・看護に必要な単語・文法などの基礎的な能力を養う。				
回	授業内容			授業方法	
1	オリエンテーション 授業の進め方と評価方法 授業準備について			プリント シラバス	
2	Pre Unit 1 Introducing Myself and family (自己紹介)			授業、評価について 自己紹介	
3	Unit 1 Hospital Departments(病院の科)			単語調べなどの予 習確認	
4	Unit 1 Hospital Departments(病院の科)			語彙の確認と練習 本文の内容確認	
5	Unit 2 Application Forms(問診票の記入)			演習問題・音読練習 次時予告と課題	
6	Unit 3 Parts of Body(身体のパーツ)				
7	Unit 3 Parts of Body(身体のパーツ)			毎時PC利用 パワーポイント	
8	Unit 4 Illnesses(病気の種類)			学生は辞書(紙、電 子、タブレットすべて 可)	
9	Unit 5(病気の種類)				
10	Unit 5(病気の種類)				
11	Unit 6 Hospital Objects(医療用品)				
12	Unit 6 Hospital Objects(医療用品)				
13	Unit 7 Locations of Hospital Objects(医療用品の収納場所)				
14	Unit 8 Hospital directions and Instructions(病院の案内)				
15	テスト				
使用教材	ホスピタルイングリッシュ2 Vital Signs2 Reading&Writing 南雲堂				
成績評価の方法	筆記試験 予習 授業に取り組む姿勢				



釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	家族関係論				
科目分類	基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	9月～10月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	大学准教授 臨床発達心理士	実務経験			
科目目的	家族のあり方を学び、現代社会が直面する、さまざまな家族問題を理解する。				
学習目標	1. 家族が多様化し、家族を取り巻く問題も複雑さを増している現代家族をめぐるさまざまな問題や人間関係について、社会・心理学的立場から理解を深める。 2. 専門職として家族を支えるために何が必要か、個々人が自分で考えることができる力を養う。				
回	授業内容				授業方法
1	家族とは何か				講義を基本とする が、一部演習を取り入れる
2	夫婦関係論				
3	親子関係論				
4	家族社会論				
5	家族支援のアプローチ(1)－家族システム論				
6	家族支援のアプローチ(2)－家族発達論				
7	家族、保護者とのコミュニケーション				
8	試験				
使用教材	系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院				
成績評価の方法	筆記試験				